

質問に対する回答書について

工事名) 秋田自動車道 黒沢川橋 (PC 上部工) 工事

質問事項と回答

番号	質問	回答
1	06_2 設計図 (黒沢橋) 2/126 鉄筋 C につきまして、普通鉄筋 D29~D32 が計上されているのに対し、機械式鉄筋定着工は、D16,D19 が計上されています。機械式鉄筋定着工 D16,D19 は、鉄筋 C (E) D16~D25 に計上される数量と考えてよろしいでしょうか。	機械式鉄筋定着工 D16、D19 は、鉄筋 C (E) D16 ~D25 に計上される数量です。  06_2 設計図 (黒沢橋)、06_3 設計図 (黒沢川橋) について後日交付図書を訂正いたします。(6/14 掲載予定)
2	06_2 設計図 (黒沢橋) 2/126 型わく P2 の数量が 5,453.2m <sup>2</sup> となっているのに対して、【訂正】03 数量明細表 数量集計表 1/4 8-(2) 型わく P2 の数量が 5,113.5m <sup>2</sup> となっています。見積は、5,113.5m <sup>2</sup> を正と考えてよろしいでしょうか。	型わく P2 の数量は設計書の通り 13,350m <sup>2</sup> であり、黒沢橋の数量については 5,113.5m <sup>2</sup> が正です。  06_2 設計図 (黒沢橋) について後日交付図書を訂正いたします。(6/14 掲載予定)
3	豪雪地域補正対象外となる機械はありますでしょうか。	積算の内容に関する質問はお答えできませんので、貴社で必要な費用を計上して下さい。なお、運搬費の基地が積雪地域等である機械については補正の対象と想定しています。
4	施工箇所は、特別豪雪地帯となっていますが、豪雪補正は 15% と考えてよろしいでしょうか。	積算の内容に関する質問はお答えできませんので、貴社で必要な費用を計上して下さい。なお、積雪地域等における機械損料の補正率は土木工事積算基準第 5 編 5-1 (2) のとおり想定しています。
5	金抜設計書 支承 E-5,E-8,E-9 につきまして、ゴム支承の性能試験が必要ですが、標準の試験機が対応できない大きさです。当該支承の性能試験においては、試験用のゴム支承 (縮小モデル) を作成する必要があると考えられますが、これにかかわる費用は受注後協議対象として考えてよろしいでしょうか。	支承の単価項目には共通仕様書 11-3 に必要な費用が含まれています。
6	金抜設計書 支承 E-6 特記仕様書 P.26 24-4-1 につきまして、支承のひずみ調整に要する治具材料費や施工費は設計変更の対象となりますでしょうか。	支承のひずみ調整に関する費用は「支承 E-6」に含みますので、貴社の計画に基づき、必要な費用を計上願います。

7	割掛対象表参考内訳書 移動作業車設備費につきまして、移動作業車は黒沢川橋 P3→黒沢橋 P1 の転用 1 回が条件となっておりますが、2 橋の橋梁諸元には違いがあり、各橋にあわせた改造が必要になることから転用ができません。P1、P3 それぞれ移動作業車の適用費用や、転用時改造費用については、受注後協議と考えてよろしいでしょうか。	割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受け付けておりません。また、移動作業車の転用については条件ではございませんので、貴社の施工計画に基づいて必要な費用を計上願います。
8	金抜設計書 PC 鋼より線 (19S15.2) 外ケーブルにつきまして、黒沢川橋 P2 柱頭部に設置される外ケーブルの定着具、予備孔定着具及び偏向管は、本工事に含まれるでしょうか。	設計図 (黒沢川橋) 34-36/187 に記載のとおり、別途を除く本工事で施工する外ケーブルに関連する定着具、予備孔定着具 (YC) 及び偏向管については、本工事の単価項目「PC 鋼より線 (19S15.2)」に含みます。
9	金抜設計書 PC 構造物の詳細設計費につきまして、田代沢橋、黒沢川橋は調査等積算基準の標準歩掛に該当する構造種別がありません。採用された歩掛をご教示ください。また、打合せ費用は計上されていますでしょうか。	積算に関する質問はお答えできませんので、貴社の計画に基づき必要な費用を計上願います。なお、田代沢橋は、調査等積算基準 5-7-2 に記載の標準歩掛を適用することは不合理と考えており、調査等積算基準 1-2-4 (iii)「歩掛」を勘案の上、積算します。また、黒沢川橋については、「PC・PRC5 径間連続箱げた橋 (片持ち工法)」を勘案の上、積算します。また、打合せ費用については、調査等積算基準 5-2-3 (3)「設計打合せ」に基づき計上します。
1 0	金抜設計書 PC 鋼より線 (19S15.2) 外ケーブルにつきまして、黒沢川橋 P2 柱頭部に設置される外ケーブルの定着具、予備孔定着とその偏向管はどの項目に計上されていますでしょうか。	設計図 (黒沢川橋) 34-36/187 に記載のとおり、別途を除く本工事で施工する外ケーブルに関連する定着具、予備孔定着具 (YC) 及び偏向管については、本工事の単価項目「PC 鋼より線 (19S15.2)」に含みます。
1 1	特別調査となっている PC 鋼材の 12S15.7 SWPR7HT の価格は 6 月の積算単価を採用するものと考えてよろしいでしょうか。	入札時点で有効な価格調査結果を採用します。
1 2	施工地域を考慮した共通仮設費率、現場管理費率の補正はありますでしょうか。又、諸経費対象額から控除している製品などはありますでしょうか。	積算の内容に関する質問はお答えできませんので、貴社で必要な費用を計上して下さい。なお、施工地域による共通仮設費率、現場管理費率の補正については、R05.05.18 掲載の回答 2 の通りです。また、諸経費対象額から控除する製品・製作費については、土木工事積算基準第 2 編 1-3-8「共通仮設費」に基づき控除します。

1 3	<p>型枠 P2 (黒沢川橋)</p> <p>数量集計表及び数量総括表の数量 (8236.6m<sup>2</sup>) と閲覧した上部工数量計算書の数量 (8928.6m<sup>2</sup>) (p.3) が合いません。数量集計表の数量 (8236.6m<sup>2</sup>) の内訳が分かる資料の明示をお願いします。</p>	<p>数量集計表及び数量総括表の数量を正とお考えください。</p>
1 4	<p>PC 鋼材引張 12S15.7</p> <p>12S15.7 は積算基準に歩掛がありません。採用歩掛をご教授願います。</p>	<p>積算の内容に関する質問はお答えできませんので、貴社の計画に基づき、必要な費用を計上して下さい。</p>
1 5	<p>プレキャスト部材 I 型げた</p> <p>門型クレーンの設置撤去は積算基準に歩掛がありません。採用歩掛をご教授願います。</p>	<p>積算の内容に関する質問はお答えできませんので、貴社の計画に基づき、必要な費用を計上して下さい。</p>
1 6	<p>プレキャスト部材 PC 板</p> <p>PC 板の敷設は橋梁側面又は橋台背面からラフテレンクレーンによる敷設が可能でしょうか。</p>	<p>橋台背面からラフテレンクレーンによる敷設は可能と想定しています。</p>
1 7	<p>PC 構造物の詳細設計 A</p> <p>田代沢橋の詳細設計について 5/30 の質問回答書において「調査等積算基準 1-2-4 (iii) 「歩掛」を勘案の上、積算」との事でしたがその歩掛 (工数) 等は公表して頂けるのでしょうか。</p>	<p>公表の予定はありません。貴社の計画に基づき必要な費用を計上願います。</p>
1 8	<p>桁下足場工費</p> <p>吊足場 (929m<sup>2</sup>) は標準型側面ですよろしいでしょうか。また、供用期間をご教授願います。</p> <p>桁下足場とは別に張出床版及び壁高欄施工用に足場が必要になった場合は協議の対象と考えてよろしいでしょうか。当初から計上されている場合は数量と供用日数をご教授願います。</p>	<p>吊足場については、標準型側面を想定しています。供用期間については、貴社の計画に基づき必要な期間を計上願います。</p> <p>張出床版及び壁高欄施工用の足場については、関連する単価項目に含まれます。数量及び供用期間については、貴社の計画に基づき必要な期間を計上願います。</p>
1 9	<p>支保工</p> <p>割掛け対象表参考内訳書の支保工で、黒沢橋の側径間支保工の数量内訳は上部工数量計算書の張出床版部のみの数量です。記載はされていませんが、他の吊支保工 (吊支保工本体や中央床版下支保工など) も計上されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>支保工費には吊支保工本体や中央床版下支保工を含みますので、貴社の計画に基づき必要な費用を計上願います。</p> <p>なお、支保工費 (側径間支保工費) の数量等について後日交付図書を訂正いたします。(6/14 掲載予定)</p>

20	柱頭部足場、橋側足場(吊支保工側面手摺)、橋面手摺(橋面側面手摺)の記載がありません。必要になった場合は協議の対象と考えてよろしいでしょうか。当初から計上されている場合は数量と供用日数をご教授願います。	足場工費に含まれているとお考え下さい。なお、数量と供用日数については、貴社の計画に必要な数量及び期間を計上願います。
21	高欄等作業車設備 側部足場の記載がありません。必要になった場合は協議の対象と考えてよろしいでしょうか。当初から計上されている場合は数量と供用日数をご教授願います。	側部足場については、関連する単価項目に含まれます。数量及び供用期間については、貴社の計画に基づき必要な期間を計上願います。
22	PC 鋼材機械器具費 緊張ジャッキ等 1 式の内訳をご教授願います。	割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受け付けておりません。
23	黒沢川橋および黒沢橋移動作業車設備について 工事工程表を見ると冬季を跨いでいるように見受けられますが、その休止期間の移動作業車費用は計上されてないと思われます。冬季休止期間を跨ぐ毎に移動作業車の解体搬出、搬入組立が必要となります。その費用は計上されているのかご教授願います。	移動作業台車を休止期間も現場に存置する場合は、その費用を計上する必要があると考えています。なお、貴社の施工計画に基づき季休止期間を跨ぐ毎に移動作業車の解体搬出、搬入組立される場合は、必要な費用を計上願います。
24	設計書に交通誘導員A 70 人、交通誘導員B 80 人計上されていますが、特記仕様書 24-5 に配置期間が資機材搬入・撤去時とあります。黒沢川橋、黒沢橋ともに稼働日数は300日以上と思われ配置人数の増加は協議対象と考えてよろしいでしょうか。	監督員が必要と認めた場合は、設計変更の対象となります。
25	金抜設計書 B-2 頁、番号 16 から 18 9-(2)PC 鋼材引張について PC 鋼より線 (12S15.7、12S15.2、19S15.2) 定着装置の単価の公表お願いいたします。	積算の内容に関する質問は回答できませんので、貴社の計画に基づき、必要な費用を計上願います。
26	黒沢川橋および黒沢橋の外ケーブル予備孔用定着装置の材料費、施工費は計上されているのでしょうか。	関連するPC 鋼材引張 PC 鋼より線の単価に含まれます。

27	<p>数量集計表 1/4 9-(2)PC鋼材引張PC鋼より線 (1S28.6) S</p> <p>黒沢川橋は、24,420kg (床版部 439ケーブル 22,796 kg + 横桁部 56ケーブル 1,624kg) となります。設計書 24,166kg のため、A2 側の PC 鋼材が未計上と思われます。ご確認お願いいたします。</p>	<p>黒沢川橋についてのPC鋼材引張PC鋼より線 (1S28.6) S の数量は、正しくは 24,420kg です。</p> <p>なお、02_1 金抜設計書、03 数量明細表、06_3 設計図 (黒沢川橋) に交付図書を後日訂正いたします。(6/14 掲載予定)</p>
----	--	--